



FYN-S1 シリーズ

揺動ダンパー [一方向性]

自己調整式

RoHS対応品

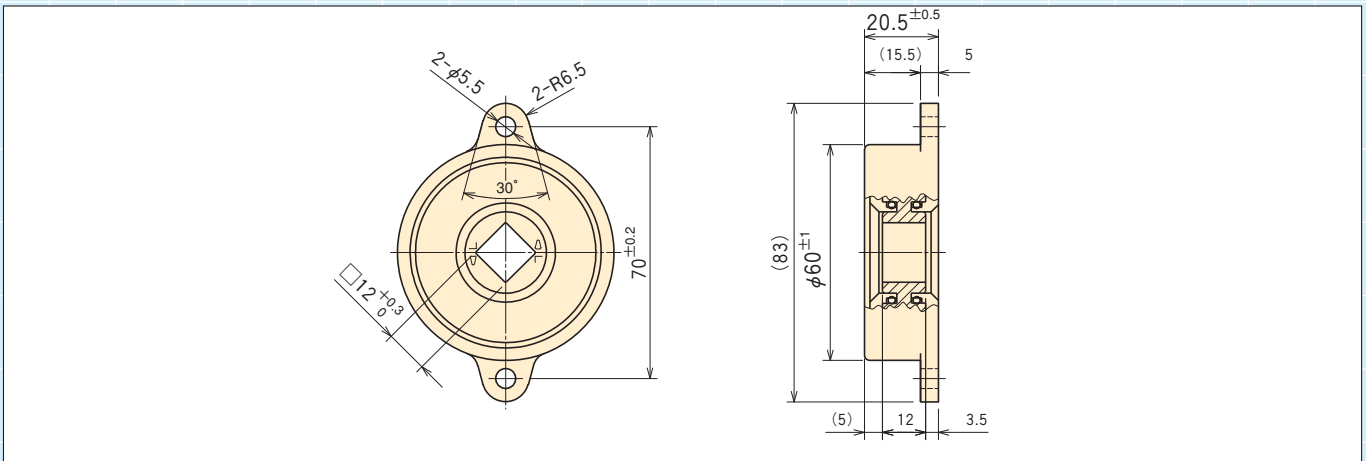


<仕様>

型 式	最大使用トルク	リバーストルク	回転方向
FYN-S1-R104	10N・m	1.5N・m	時計方向
FYN-S1-L104	(100kgf・cm)	(15kgf・cm)	反時計方向

注) 測定温度は23°C±2°Cです。

- *最大使用角度 130°
- *使用温度範囲 -5~50°C
- *製品質量 220±10g
- *本体ケース材質 亜鉛ダイカスト (ZDC)
- *キャップ材質 亜鉛ダイカスト (ZDC)
- *ローター材質 ポリアセタール (POM)
- *使用オイル シリコンオイル



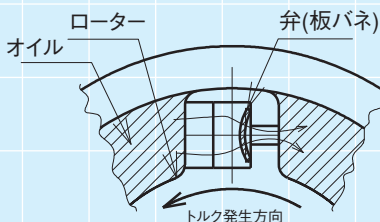
ダンパーの使用方法

①自己調整式揺動ダンパーの動作特性

従来型の揺動ダンパーは、ご使用頂く負荷トルクが変化してもダンパーの強さ(ダンピング定数)は変化しないため、負荷トルクが小さい時は動作速度が遅くなり、負荷トルクが大きい時は動作速度が速くなります。

しかし、自己調整式FYN-S1シリーズでは、与えられる負荷に応じてダンパーの強さ(ダンピング定数)を自己調整する構造になっていますので、負荷が変動した場合の動作時間変化が従来型ダンパーよりも少ないという特徴を持っています。

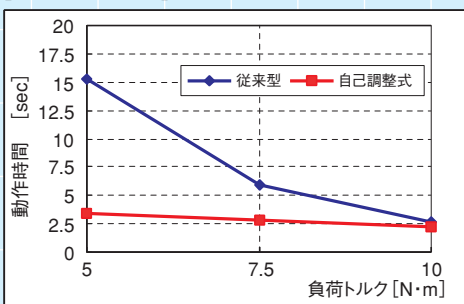
トルク対応幅は、5~10N・mとなっていますので、下記動作時間グラフを参考にダンパーを選定してください。



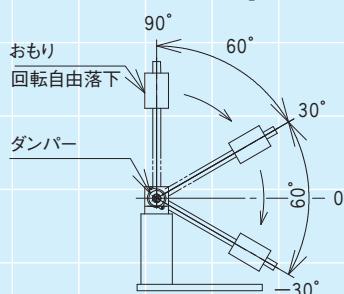
【自己調整式の動作原理】

左図のように、弁(板バネ)を変形させることによりオイルの流量を変化させ、ダンパーの発生トルクを調整する構造になっています。(PAT.P)

【動作時間グラフ】



【グラフの動作時間測定条件】



- 負荷トルク T=5~10N・m
- 測定角度 θ=30°~-30°
- 測定温度 23°C±2°C

自己調整可能なレベルは、ご使用頂くワークの動作角度範囲により変化することが考えられますので、実際にご使用頂く条件にてご確認頂いた上で、ダンパーを選定してください。

1 ローターダンパー
2 小型フロントダンパー
3 大型フロントダンパー
4 スピードコントローラ
5 ヘリカルインレタ
6 ガススプリング
7 機種選定用シート
8 価格表